

# 宮崎県職員採用試験制度の見直しについて

人事委員会事務局総務課

## I 趣旨

少子化に伴う受験年齢人口の減少や民間企業の雇用情勢の影響、国や他の地方公共団体との競合等により、受験者数の確保が喫緊の課題となる中、採用試験の実施方法や試験会場等について、社会情勢の変化に対応した見直しを積極的に行うとともに、効果的な啓発・広報活動を実施し、県職員の魅力や仕事のやりがいを広く発信することで、多様で優秀な人材の確保を図る。

## II 見直しの内容

### 1 職員採用試験（大学卒業程度）4月試験の実施

#### (1) 区分試験「一般行政特別枠」の新設

民間企業志望者や通常の試験では受験にまで至らない新たな受験者層「潜在的な公務員志望者」に興味を持っていただき、受験者数を確保するため、区分試験「一般行政特別枠」を新設し、民間企業などで広く実施されている試験を導入する。

#### 【試験種目】

- ・第1次試験：基礎能力検査・性格検査（SPI3）、論文試験
- ・第2次試験：人物試験（集団討論、個別面接）

#### 【参考】SPI3とは

提供会社：株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

概要：個人の基本的な資質を「基礎能力検査」と「性格検査」で測定する検査。

#### (2) 区分試験「一般行政（社会人）」の4月実施

これまで、6月の通常試験時に実施してきた社会人採用試験のうち、「一般行政（社会人）」についても、教養試験に替えて基礎能力検査・性格検査（SPI3）を導入し、(1)の一般行政特別枠と合わせて4月に実施する。

#### (3) 試験の実施時期等

- ・公告日：令和2年2月27日（木）
- ・受付期間：令和2年3月1日（日）～3月31日（火）
- ・第一次試験日：令和2年4月19日（日）

## 2 福岡会場の開設

6月通常試験（大卒程度等）の福岡会場については、平成20年度を最後に廃止した経緯があるが、受験者の利便性向上、負担軽減を図り、より多くの受験者確保に繋げるため、従前の宮崎・東京会場に福岡会場を加えて3会場とする。

なお、4月に実施する試験についても同様とする。

## 3 大学卒業程度等（技術系職種）に係る教養試験の負担軽減

技術系職種については、平成29年度の採用試験から、教養試験に選択解答制を導入し、より専門重視の配点とする見直しを行ったところであるが、受験者確保が依然として厳しい状況にあることから、教養試験問題を簡素化し、受験者の更なる負担軽減を図る。

- ① 問題数 【旧】40／50問選択解答制→【新】25問必須解答制
- ② 出題範囲 「人文科学」「自然科学」等の知識分野に関する出題を縮小し、「文章理解」「判断推理」等の知能分野中心の出題範囲とする。

## 4 警察官採用試験における資格加点制度の導入

柔道・剣道や語学、情報処理等の資格を有する者に対して、1次試験に加点制度を設けることで、有資格者の受験意欲を喚起するとともに、複雑多様化する課題に対応し得る能力と意欲を持った優秀な人材の確保を図る。

### 【加点対象資格】

- ① 術科（柔道・剣道）
- ② スポーツ歴
- ③ 語学（英語、中国語、韓国語）
- ④ 情報処理
- ⑤ 財務（日商簿記）